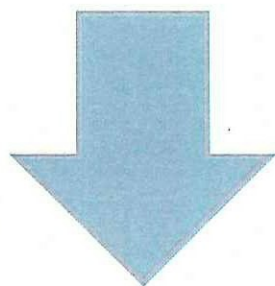


# 八代市坂本町集落交通機能編成事業

## 経緯

2つの地域から、交通弱者の対策を模索中との提案がある。

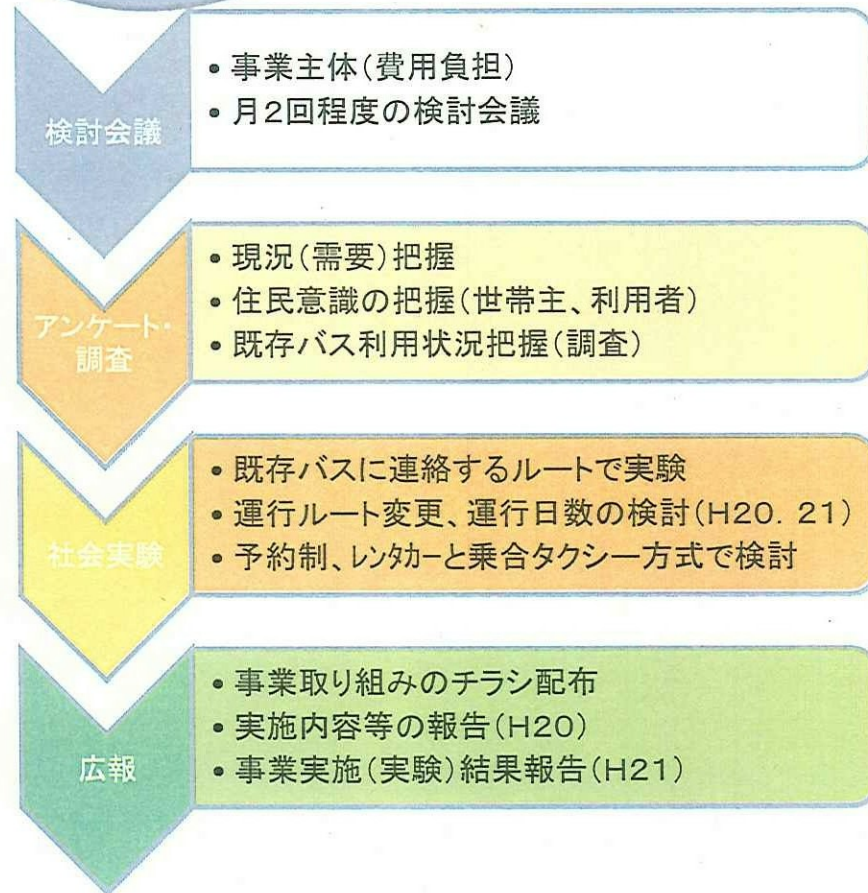
・地元の保育園バス利用、ボランティア運転手の確保による運行等が検討されていたが、一地域での対応は困難ではないか、坂本町全体の問題として取組もう



「新たな公」として、坂本地域振興会連絡協議会が、運営主体となって交通機能確保するための取組実施

# 八代市坂本町集落交通機能編成事業の内容

## 主な柱



## 今後の課題

- 事業主体の確認
- 効率的な運行
- 費用負担(市の支援、住民の理解)

## 方針

- 地域振興会連絡協議会が自主運行する。
- 需給バランスのとれた効率的な運行
- 市の助成、地域の助成、受益者負担

## 取組

- 地域住民の理解と地域交通会議での承認、運輸局許可申請。
- 市からの運行費助成要望
- 財源確保(会費制の検討、寄付、その他)



H20 検討会 12回 154人

H21 役員会 6回 24人  
 検討委員会 8回 120人  
 (H22.1現在)



H20 第1回(12月16日~26日)

7ルート週2回運行

利用者延べ159人

第2回(2月 3日~20日)

6ルート週2回運行

利用者延べ207人

H21 10月5日~12月25日

5ルート週1回運行

利用者延べ725人

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業  
八代市坂本町集落交通機能編成事業・実証実験運行ルート図

熊本県 八代市  
坂本町全図



洪利～坂本ルート  
片道: 3,504m

深水(嶽)～  
(川口・袈裟堂経由)  
～八代駅ルート

深水(上深水)～  
(板ノ平・木々子経由)  
～坂本ルート

中津道(市ノ俣)～  
(枳之俣・上鎌瀬経由)  
～坂本ルート

百済来(小川内)～  
(鶴喰経由)  
～坂本ルート

2009. 9. 17 決定

ジャンボタクシー利用ルート  
既存路線バスルート

1 : 75,000

# 社会実験を通して見えたもの

・1便あたりの利用者数が増えた。

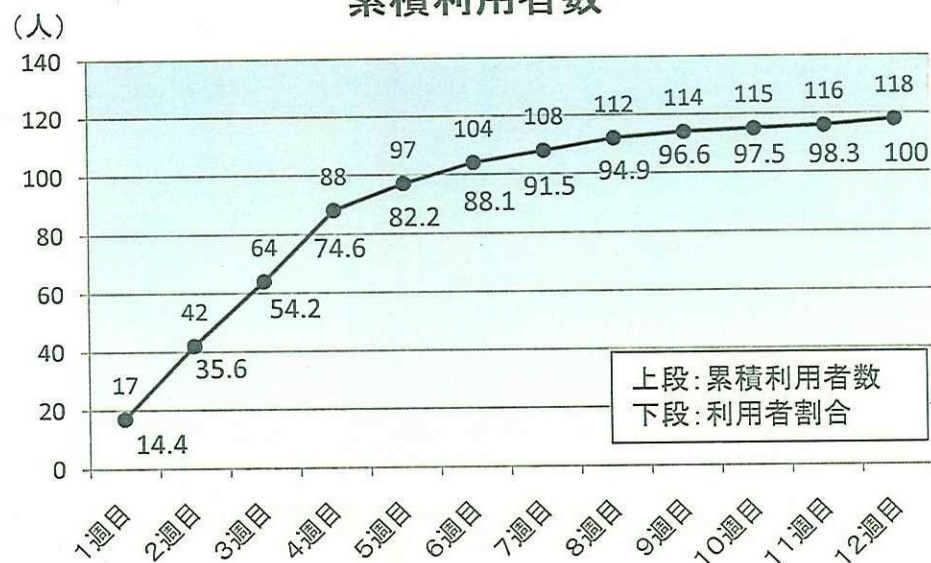
平均1.7→3.5→6.1

・累積利用者数は、7週目で90%を超えており、乗り合いタクシーが少しずつ地域に浸透していることが分かる。

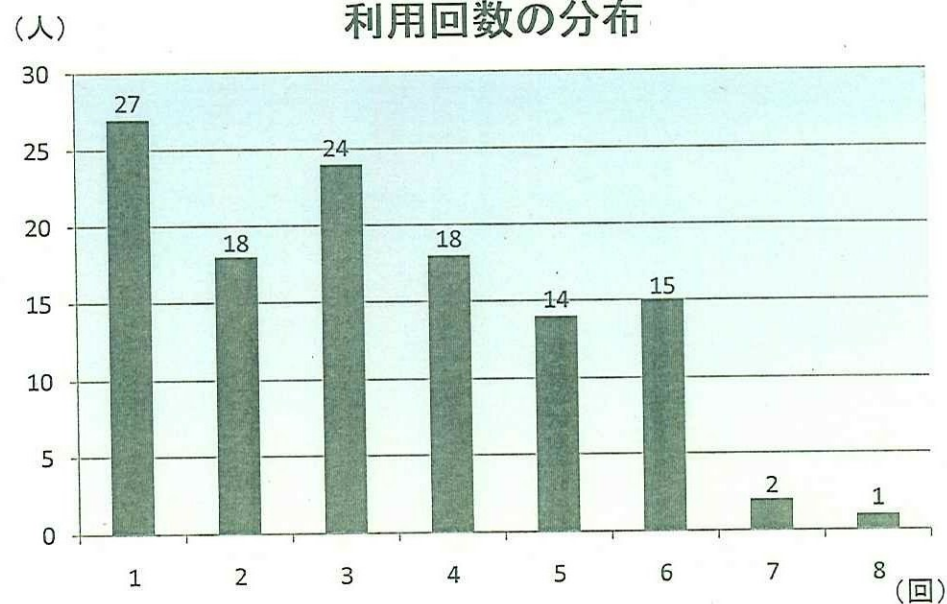
これは数週間しか試験運行を行わなかった実証実験では分からなかったことである。

・利用頻度は4週間に1回、2、3週間に1回の利用のされ方が多い。利用者の生活スタイルは、通院を中心に行われている。また、利用回数は6回までが多く、2週間に1回の運行でも住民のニーズに対応できると思われる。

### 累積利用者数



### 利用回数の分布



# 事業効果

## コミュニティ の創生

- 地域振興会の連絡会議が、事業主体となって連携して取り組めた。
- 乗り合いとなったことで、ルート地域の交流が増加した。
- 交通機能を確保し、交通弱者の救済となった。
- 視察研修受け入れ等も活発となった。(H21:3件)

## 将来に向けて自 治活動と協働の 促進

- 地域の問題を自治組織が主体的に取り組む体制づくりができた。
- 市との協働の実践例として先進的取組みとなり、他地域へのモデルとなる。
- 平成22年8月から有償運行を開始予定